

チャトゲコナジラミ専用新型防除装置

茶の新害虫チャトゲコナジラミ（以下、チャトゲ）は全国に分布域を拡大している侵入害虫で、茶樹裾部や葉層最下部の葉裏に幼虫が寄生することから防除が困難です。鹿児島県においてもチャトゲの侵入が確認されましたが、対応できる防除機がありませんでした。そこで、鹿児島県農業開発総合センター茶業部ではチャトゲに対応した防除装置を開発しましたので、その概要について紹介します。

☆ 技術の概要

1. 送風管から強い風を吹き出し、地際よりやや上方でぶつけて茶畦中央で上向きの風を発生させます（図1、2）。この上向きの風に噴霧した農薬粒子がのるため、茶樹内部や裾部の葉裏にも農薬が到達しやすくなります。
2. この装置による付着率は、チャトゲ幼虫が寄生する成葉の葉裏に対して、茶樹裾部では75～100%、摘採面10cm下では80～100%、葉層最下部（摘採面下23cm）では95～100%と高くなります。
3. 本装置（2号機）の前モデル（1号機）で、第一世代幼虫を対象とした防除試験を行ったところ、ダニゲッターフロアブル（2,000倍）・363 μg /10a（6速）散布での防除率は葉層で71.3%、裾部で97.8%と高く、実用化できるレベルの効果が得られました。
4. 本装置（2号機）は葉層のチャトゲ防除率をより向上させることを目指して、1号機に霧噴口を追加（吐出量は6速で約40 μg /10a増加）したものです。

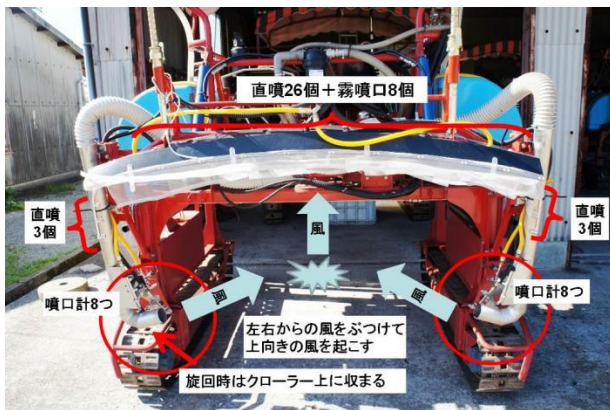


図1 防除装置の構造と動作



図2 上向きの風を用いた噴霧の様子

☆ 活用面での留意点

1. M社製の防除機（MCS8A, MCS10S）に装着できます。旧タイプの防除機では、フレームと取付改造工事が別途必要です。なお、本装置は特許出願中です。
2. チャトゲとクワシロカイガラムシ（以下、クワシロ）の同時防除（686 μg /10a）を想定した場合、クワシロ生息部位の枝への付着率は60～100%となりました。
3. 詳しいことは、鹿児島県農業開発総合センター 茶業部（[TEL:0993-83-2811](tel:0993-83-2811)）へお問い合わせください。（日本政策金融公庫農林水産事業本部 テクニカルアドバイザー 吉岡 宏）